

警告 安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



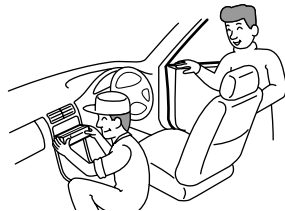
行為を禁止する記号



取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



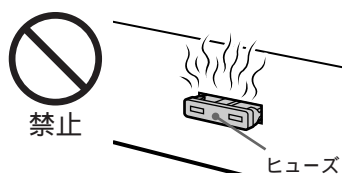
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



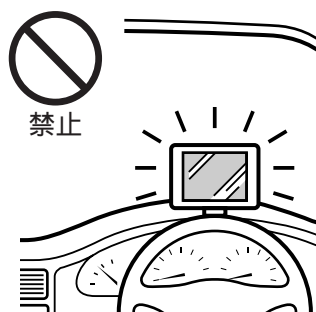
規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

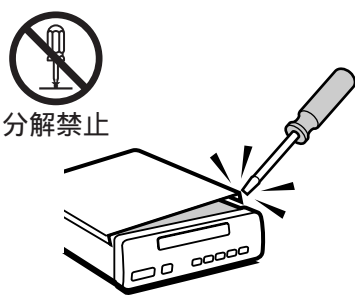
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



注意 下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



グラフィックイコライザー ミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDX-700EQ

Sony Corporation ©1996 Printed in Japan

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

部品の保有期間について

当社ではカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店が、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

主な特長

MDプレーヤー部

- ・強い振動を受けても音とびしにくい4メガビットの音とびガードメモリー機能。
- ・MDをクリアに再生できるワイドビットストリームおよび1ビットDAC採用。

接続したマスターユニットを使って次のような機能を使うことができます。

- ・MD内の各曲の最初の10秒ずつを順に聞くことができるイントロ演奏機能。
- ・演奏中の曲やMD内のすべての曲を繰り返し演奏するリピート演奏機能。
- ・MD内の曲を順不同に演奏するシャッフル演奏機能。
- ・プログラム機能付きのマスターユニットとの接続でプログラム演奏機能に対応。

スペクトラムアナライザー部

- ・刻々と変化する音声信号レベルを、リアルタイムで表示する15バンドスペクトラムアナライザー。
- ・車内を鮮やかに演出する6種類のスペアナ表示パターン。

接続するマスターユニットによっては使用できない機能があります。くわしくはマスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

グラフィックイコライザー部

- ・きめ細かな音質調整ができる7バンドグラフィックイコライザー。
- ・ワンタッチでジャンル別の音質が楽しめる7種(REGGAE, JAZZ, HIPHOP, DANCE, BALLAD, CLASSIC, FLAT)のファクトリープリセットモード。
- ・自分だけのイコライザーカーブがつくれる3種類のユーザープリセットメモリー。
- ・ディスクごとに記憶したイコライザーモードで演奏することができるDSM(ディスクサウンドメモリー)機能。(SOUNDボタンのあるマスターユニットをお使いのとき)
- ・ソースごとに記憶したイコライザーモードで演奏することができるSSM(ソースサウンドメモリー)機能。(SOUNDボタンのあるマスターユニットをお使いのとき)

その他

- ・照明色の切り換えはマスターユニットと連動。
- ・ディスプレイの明るさの切り換えはマスターユニットと連動。(ディマー機能のあるマスターユニットと接続した場合。)
- ・CDチェンジャーをダイレクトに接続できる、マルチCDシステム対応のソースセレクター機能内蔵。

主な仕様

MDプレーヤー部

復号化(D/A)	1bit±方式
ワウフラッター	測定限界以下
SN比	105dB
周波数特性	5Hz~20,000Hz

グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、160Hz、400Hz、1kHz、2.5kHz、6.3kHz、16kHz
可変範囲	712dB
周波数特性	5Hz~50,000Hz
SN比(フラット時)	90dB以上
ひずみ率	0.01%
利得	0dB

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー(マイナスアース)
消費電流	2A(ディスクローディングまたはイジェクト時)

使用温度範囲	10.C~+50.C
出力端子	バスオーディオ出力端子 バスコントロール出力端子 サブウーファー用ライン出力端子 フロント用ライン出力端子 リア用ライン出力端子

入力端子	バスオーディオ入力端子 バスコントロール入力端子 音声入力端子
------	---------------------------------------

本体寸法	約78×50×165mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約78×50×149mm (幅/高さ/奥行き)

質量	約1.4kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1)

別売りアクセサリ	バスケーブル (RCAピンコード付き) RC-61(1m) RC-62(2m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m)
----------	---

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

ご注意

本機の取り扱い

本体表面を傷めないために

本体表面に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

ヒューズについて

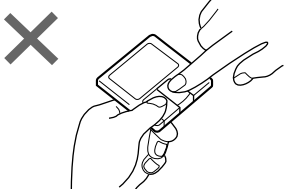
ヒューズを交換するときは、必ず、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

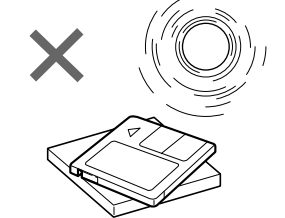
MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあげるとこわれます。



保存

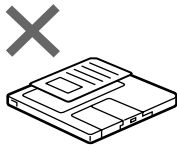
直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



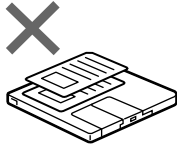
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDがチェンジャーから取り出せなくなることがあります。

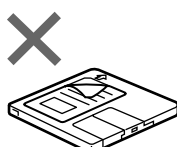
- ・指定の場所に貼ってください。



- ・重ねて貼らないでください。

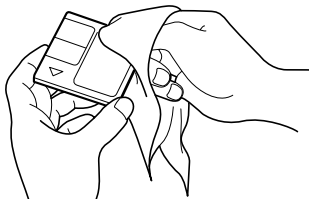


- ・ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

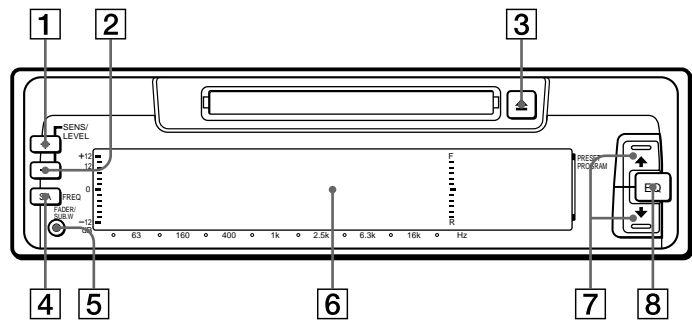
周囲の状況にもよりますが、MDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合はアフターサービスをお申し付けください。

故障かな?と思ったら

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

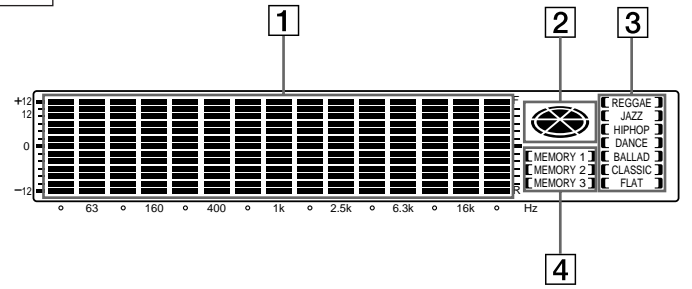
症状	原因・処置
MDが入らない。 MDを入れてもすぐに出てくる。	すでに別のMDが入っている。
	MDを誤った向きに入れようとしている。 →レーベル面を上にして入れる。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	ディスクが傷ついている。 →他のディスクを再生してください。
	本機の取り付け角度が20°をこえている。
音がひずむ。	マスターユニットのBAS、TREBLEコントロールが最大になっている。 →マスターユニットのコントロールで調整してください。
	マスターユニットのLOUDが強調されている。 →マスターユニットのLOUDを切ってください。
メモリーの内容が消えてしまった。	動作電源コードまたはバッテリーをはずした。 →「取り付けと接続」を参照して接続を確認してください。
スペアナが全く振れない	+ 、 - を押して、スペアナの振幅を調節してください。
電源が入らない。	接続コネクタが確実に挿入されていない。 →「取り付けと接続」を参照して接続を確認してください。

各部のなまえ

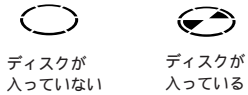


- 1 **+** (レベル調節) ボタン
- 2 **-** (レベル調節) ボタン
- 3 **▲** (MD取り出し) ボタン
- 4 SA (スペクトラム表示パターン切り換え) ボタン
- 5 FADER/SUB.Wボタン (お使いになるマスターユニットによっては使用できません。)
- 6 表示窓
- 7 **↑↓** (選択) ボタン
- 8 EQ(プリセットモード切り換え)ボタン

ディスプレイ



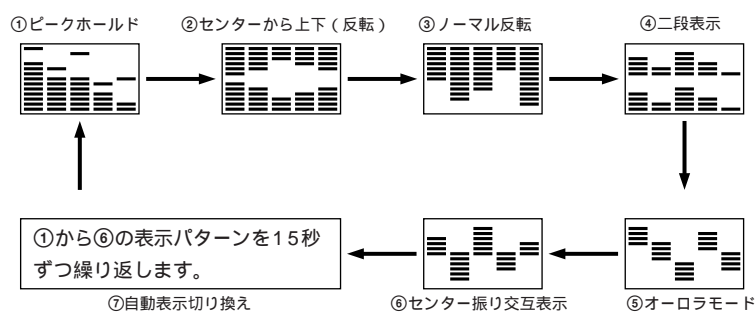
- 1 スペアノイコライザーカーブ表示部
- 2 ディスクインジケーター
- 3 ファクトリープリセット表示部
- 4 ユーザーメモリーモード表示部



スペクトラムアナライザー

スペアナの表示パターンを変える (スペアナ表示モード)

SA を短く押す。
表示パターンが変わります。
SA を押すごとにスペアナ表示パターンは次のように変わります。



スペアナの振れ幅を変える (入力感度切り換えモード)

+、**-** でスペアナの感度を切り換える。

スペアナの感度は4段階に切り換えることができます。(バー表示が多くなるほど感度は高くなります。)
スペアナの振れ幅は、マスターユニットのVOLUME(出力)に連動して変化します。

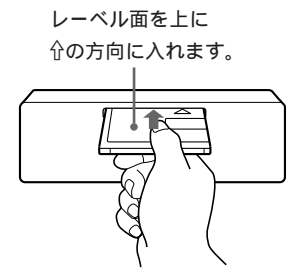
MDのディスク名・曲名のカタカナ表示について

カタカナ表示に対応したマスターユニット(XR-C7000、XR-C5000、CDX-C9000)と本機を接続すると、本機で再生するMDに記録されたカタカナのディスク名・曲名をマスターユニットに表示できます。

FM文字多重放送ディスプレイユニットFMX-77およびTVチューナーXT-40Vをお使いになる時のご注意
FMX-77およびXT-40Vはカタカナ表示に対応していません。したがって、ディスク名・曲名がカタカナで記録されたMDを再生すると、FMX-77のディスプレイおよびXT-40Vに接続したモニターでは正しく表示されません。

MDを聞く

- 1 MDを入れる。
ディスクが引き込まれ、最初の曲から演奏が始まります。



- 2 マスターユニットで音量を調節する。

すでにディスクが入っているときは
マスターユニットのMDボタンを押す。または、SOURCEボタンでMD再生に切り換える。

MDボタンまたはSOURCEボタンのないマスターユニットについて
CDボタンで本機を操作することができます。
マスターユニットの表示窓に「CD」と表示されます。

ご注意
• MDX-100にはMDボタンがありますが、本機の操作はCDボタンで行います。

最後の曲の演奏が終わると
1曲目の頭から演奏が再開します。
チェンジャーが接続されているときは、次のチェンジャーのディスクの再生に切り換わります。

ご注意
• すでにディスクが入っているときに、別のディスクをディスク挿入口に入れないでください。故障の原因になります。
• ラベル面を下にしてディスクを差し込むと、傷つくことがあります。

演奏を止める

接続したマスターユニットのOFFボタンを押す。
再びマスターユニットのMDボタンを押すと、同じところから演奏が始まります。

本機の **▲** を押す。
ディスクが出てきます。

ディスクを取り出す

本機の **▲** を押す。

メモリー機能

(SOUNDボタンのあるマスターユニットと接続した場合)

前回と同じイコライザーカーブで聞く

(ソースサウンドメモリー) (お使いになるマスターユニットによっては使用できません)

本機は、最後に選んだイコライザーカーブをソースごとに記憶します。途中でソースを切り換えたり電源を切ったりしても、前にそのソースを聞いたときと同じイコライザーカーブで聞くことができます。

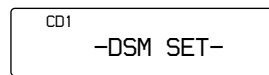
ご注意
ディスクサウンドメモリーを行っているディスクを再生した場合は、ディスクサウンドメモリーで登録したイコライザーカーブに設定されます。

イコライザーカーブをディスクごとに登録する

(ディスクサウンドメモリー) (お使いになるマスターユニットによっては使用できません)

本機は、再生したディスクのイコライザーカーブやサブウーファーの設定をディスクごとに登録することができます。この機能により、特定のディスクをいつも同じイコライザーカーブやサブウーファーレベルで聞くことができます。(登録できるディスクは最大50枚までです。)

- 1 再生中に **(SHIFT)** を押す。次に **(X) PLAY MODE** を押して「DSM SET」を選択する。



- 2 **(ENTER)** を短く押す。



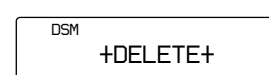
登録したイコライザーカーブを変更する

ディスクを再生中にイコライザーカーブを変更します。上記手順1、2の操作を行います。

登録したイコライザーカーブを消去する

- 1 再生中に **(SHIFT)** を押す。次に **(X) PLAY MODE** を押して「DSM SET」を選択する。

- 2 **(ENTER)** を2秒以上押す。



グラフィックイコライザー (接続するマスターユニットの種類によって操作方法が違います。)

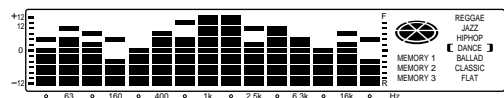
SOUNDボタンのないマスターユニットと接続した場合 (本機で操作します。)

プリセットカーブを選択する

7種類のファクトリープリセット*(REGGAE, JAZZ, HIPHOP, DANCE, BALLAD, CLASSIC, FLAT)および3種類のユーザープリセット(MEMORY1, MEMORY2, MEMORY3)の中から、お好みの音質を選んで聞くことができます。

* ジャンル別に適した音質が設定されています。この設定を変えることはできません。

、を押してプリセットカーブを選ぶ。
イコライザーモード表示部が点灯します。



、を押すごとに次のように切り換わります。



イコライザーを解除する場合は、「FLAT」を選ぶか、本機のを押します。

イコライザーで音質を調節し、登録する (ユーザープリセット)

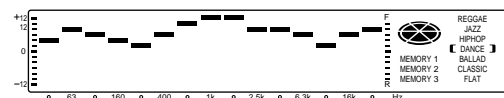
1 、を押して元になるプリセットカーブを選ぶ。

2 を2秒以上押す。

3 で調節したい周波数を選ぶ。
選択されている周波数バーが点滅します。

63 → 160 → 400 → 1k → 2.5k
→ 6.3k → 16k

の7バンドを選ぶことができます。



4 、で選択した周波数のレベルを調節する。

強める

弱める

5 、を短く押し、登録する番号(MEMORY1、MEMORY2、MEMORY3)を選ぶ。

、を押すごとに次のように切り換わります。



6 を2秒以上押す。
手順5で選んだ番号に登録されます。

7 を2秒以上押す。
スぺアナ表示に戻ります。
手順6を行わないでを2秒以上押した場合は、登録せずにスぺアナ表示に戻ります。
この時、手順5で選んだ登録する番号(MEMORY1、MEMORY2、MEMORY3)が点滅します。

調節中にを押すと、イコライザーカーブとFLATを切り換えることができます。

フェーダーバランスを調節する

1 を押す。
フェーダー調節モードに入ります。

2 、で前後のスピーカーバランスを調節します。

後のスピーカーの音量を下げる

前のスピーカーの音量を下げる

ご注意
マスターユニット側のフェーダーは必ず中央位置に合わせておいてください。

サブウーファーを調節する

1 を2秒以上押す。
サブウーファー調節モードに入ります。

2 、でサブウーファーのレベルを調節します。

レベルを上げる

レベルを下げる

3 を押してサブウーファーのカットオフ周波数を選びます。

4 を2秒以上押す。
通常のモードに戻ります。

SOUNDボタンのあるマスターユニットと接続した場合

プリセットカーブを選択する

7種類のファクトリープリセット*(REGGAE, JAZZ, HIPHOP, DANCE, BALLAD, CLASSIC, FLAT)および3種類のユーザープリセット(MEMORY1, MEMORY2, MEMORY3)の中から、お好みの音質を選んで聞くことができます。

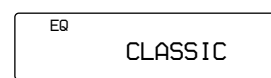
* ジャンル別に適した音質が設定されています。この設定を変えることはできません。

本体側で操作する場合：

、を押してプリセットカーブを選ぶ。
イコライザーモード表示部が点灯します。

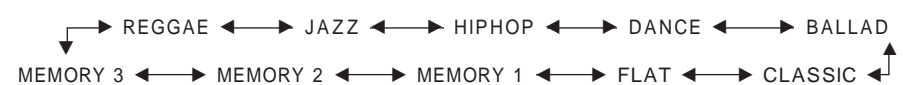
マスターユニット側で操作する場合：

1 を押して「EQ」を選ぶ。



2 ボリュームVOLの、を押して(または、ダイヤルを回して)プリセットカーブを選ぶ。
「EQ」を選択後、3秒以内に行ってください。3秒を過ぎると音量調整に戻ります。

プリセットカーブは次のように切り換わります。



イコライザーを解除する場合は、「FLAT」を選ぶか、本機のを押します。

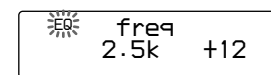
イコライザーで音質を調節し、登録する (ユーザープリセット)

(マスターユニット側で操作します。)

1 「プリセットカーブを選択する」の手順で元になるプリセットカーブを選ぶ。

2 を2秒以上押す。

3 (←)、 (→)を押して周波数を選ぶ。



63 ↔ 160 ↔ 400 ↔ 1k ↔ 2.5k ↔ 6.3k ↔ 16k
の7バンドを選ぶことができます。

4 ボリュームVOLの、を押して(またはダイヤルを回して)選択した周波数のレベルを調節する。

5 (ENTER)を短く押す。

6 ボリュームVOLの、を押して(またはダイヤルを回して)登録する番号(MEMORY1、MEMORY2、MEMORY3)を選ぶ



登録する番号は次のように切り換わります。



7 (ENTER)を短く押す。
手順6で選んだ番号に登録されます。
手順7を行わないでを2秒以上押した場合は登録せずに通常の再生モードに戻ります。

8 を2秒以上押す。
通常の再生モードに戻ります。

調節中にを押すと、イコライザーカーブとFLATを切り換えることができます。

フェーダーバランス/サブウーファーを調節する

(マスターユニット側で操作します。)

1 を繰り返し押し調節したい項目(FAD、SUB)に切り換える。

2 ボリュームVOLの、を押して(またはダイヤルを回して)調節する。
調節したい項目を選択後、3秒以内に行ってください。3秒を過ぎると音量調節(VOL)に戻ります。

サブウーファーのカットオフ周波数の調整

1 を押して「SUB」を選択する。

2 を2秒以上押す。
「SUB」を選択後3秒以内に行ってください。3秒を過ぎると音量調節(VOL)に戻ります。

3 を繰り返し押し「SUB」表示を出す。

4 ボリュームVOLの、を押して(またはダイヤルを回して)サブウーファーのレベルを調節する。

5 (←)、 (→)を押して、カットオフ周波数を調節する。

6 最後に、を2秒以上押し設定する。